



橋爪 法一（日本共産党議員団）



Q 農林業センサスによると、20年前の農業経営体数は8211だった。それが5年前には3111と4割弱に激減している。また5年前の調査では後継者がいないという経営体は8割のぼっており、極めて深刻である。どう見ているか聞きたい。

A 消費者の皆さんにも米価について一定の理解を得る一方で、農業経営の効率化とコスト低減を推進し、経営体質の強化・改善などを図りながら、多くの担い手を惹きつける魅力ある産業にしていけることが必要と考えている。

Q 食料安全保障崩壊の危機の中で、国に対して米の増産と所得補償を働きかけるべきではないか。また、市としても思い切った増産目標と計画打ち出す考えはないか。

A 国は令和9年度からの水田政策を根本的に見直すとしている。まずは、国の動きを注視し、懸念がある場合は国への要望活動を行っていく。



宮越 馨（無所属）



Q 記者会見で市長は「市政は混乱していない」と発言したが、上越市発足以来これほど混乱した市政は見たことがない。なぜ嘘の政治をするのか。私との選挙協定である「政策協定」を守らないのはなぜか。私のノウハウを生かす態勢を作らなかつたため市の発展は停滞し、私が誘致した火力発電所からの税収がなかつたら財政は破綻している。住みよき日本一、子育て日本一、雁木通りを世界遺産にするとの公約は嘘だったのか。「市長とは会話ができない」との県幹部の声は致命的である。加えて、加速する人口減少対策や地域医療問題に真剣に取り組まないのはなぜか。中川市政はリセットする必要があるため、政策協定は破棄するが所見を聞きたい。

A 持続可能で将来に引き継げるまちになるよう、継続性をもって市政運営に全力を尽くす。

上越地域の医療体制維持を

Q 老朽化が著しい上越地域医療センター病院は直ちに建て替える必要がある。また、新潟労災病院は形を変え、コワーキング病院として市が責任をもって残すべきである。上越地域の医療体制崩壊の危機であるが、どう考えているか。

A センター病院については、上越地域の医療構想の議論等を見極めながら取り組んでいくが、労災病院のコワーキング化は考えていない。



一般質問についてもっと詳しく教えて！

Q 一般質問の持ち時間は決まっているの？

一般質問における議員1人あたりの持ち時間の制限は各議会によって異なります。上越市では、議員の質問時間に30分の制限を設けています。なお、理事者（市長や教育長など）の答弁は制限時間に含まれません。

Q 6月定例会はどれくらい一般質問を行ったの？

1人あたり平均で約53分（答弁の時間を含む）の論戦を繰り広げました。